

## 情 報

### Education Research Group Faculty Travel Award を受賞して

木暮ミカ  
(歯科技工士学科)

2006年のIADR総会・学術大会（オーストラリア・ブリスベン）において発表いたしました，‘Education effect of a new self-learning method for tooth-carving skill’ が教育分野の発表の中から選出されるEducation Research Group Faculty Travel Awardを受賞いたしました。発表内容は，誰もがカービング技術を簡単に習得できるように，手本模型と実習物の差を随時三次元的に判断するための補助ツールとして開発した高精度ルーラーの教育的効果について分析したものです。おかげさまで用意していたリーフレット100部はあっというまになくなり，ディスカッションタイムでは多くの先生より質問をいただきました。今学会を通じて，自分の仕事の世界レベルでどの程度興味を持ってもらえているのかを直接肌で感じることができ，とても良い刺激になりました。それと同時に，技術・技能伝承についての指導や評価方法は，洋の東西を問わず関心が高いのだということをあらためて実感いたしました。

今回の受賞を励みに，今後とも歯科教育や臨床に貢献できる研究成果を日本から発信できるよう，研鑽を積んでいきたいと思います。

最後に，本研究の発表に際しまして多くのご指導をいただき，ブリスベンにおきましてもご助力を賜りました花田晃治先生，ご協力いただいた共同演者の根岸政明さん，五十嵐雅子先生，そして模型の原型作りを手伝って

くれた第8期生の古俣英明君に，この場をお借りして心より御礼申し上げます。

※IADR公式ホームページ上で本賞ならびに受賞者の名前が掲載されています。

<http://www.dentalresearch.org/awards/edgroup.html>

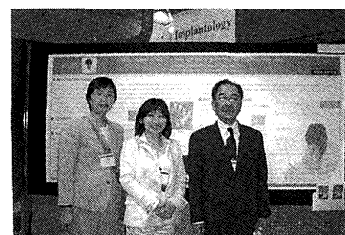
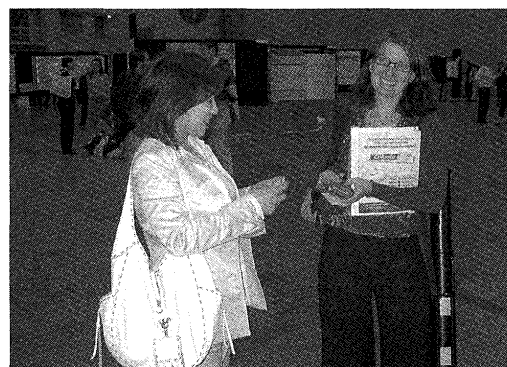


図1. 会場内外の様子

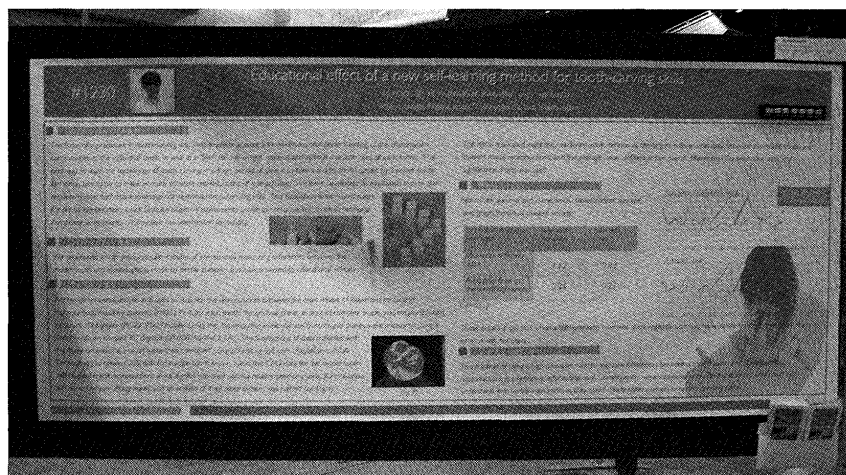


図2. 今回発表したポスター